
日本格闘大戦荒木編

岸辺呂範

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日本格闘大戦荒木編

【NZコード】

N4473D

【作者名】

岸辺呂範

【あらすじ】

突如現れた謎の化物独歩は妻を守れるのか、日本格闘大戦記念すべき第一話まずは荒木編だ！

日本格闘大戦第一話異変（前書き）

初めて書いたものなので読みづらいかもしませんが御了承下さい、
岸辺呂範より

これは、人々の平和に暮らしている日本で起きた、人と化物の戦闘の記録である。

始まりは日本のとある道場、その道場は日本実戦空手初代荒木平八郎によつて作られた道場である、今は18代目館長荒木独歩によつて治められている。その男荒木独歩は朝稽古を終えたばかりであつた（ふうー、さて食事にするかな）そんなことを思いながら独歩は道場から少し離れた自宅に向かっている最中だつた、その熊程の大きさを持つた生物が自宅に入つて行こうとしているのを見つけたのは、（まずい！）と独歩は思った何故なら家の中には妻が居るのだ、すぐさま駆け出す独歩、

「キヤー！！」叫び声が聞こえた

「夏絵ー」思わず独歩は叫びながら家の中に飛び込む、数m先には今にも襲われそうな夏絵、（どうにかしなければ）そう思った独歩は近くにあつた花瓶を投げ付ける花瓶は弧を描きながらその生物に当たり碎ける、（一瞬でいいこっちに向きやがれ）独歩の願いが通じたのかこちらを向く生物そう思つと同時に独歩は生物との間合いを詰める、だがその生物を見て驚く、腕が四本生えていたのだ

「なにい！！」思わず声が出る独歩、そして一瞬攻撃が遅れる、その隙に化物の薙払うような一撃があたる

「ぐつー！」呻き声をあげながらも十字受けで防ぐ独歩、そしてその体制から自分を攻撃している腕に対し前蹴りを放つ、ベキイと鈍い音を放ちながら折れる腕

「グロオオオー」化物が怒りの咆哮を上げ折れていない三本の腕で独歩に攻撃を仕掛ける、しかし独歩は一瞬早く化物の首に対し蹴りを放つそれを受け怯む化物、その間に独歩は胴回し回転蹴りを頭に向け放つ、グシャ、鈍い音と共に頭が潰れる化物、何せ瓦120枚を粉碎する独歩の蹴りを受けたのだ当たり前である、それを

見て安心して夏絵の方に向かう独歩（ひづ）やら夏絵は氣絶しているようだつた、（良かつた）それを見て独歩は素直にそう思つた、それから氣絶している夏絵をベットに寝かし独歩は化物の事を調べ始めた

日本格闘大戦第一話異変（後書き）

この様な作品を読んで頂きありがとうございました、心よりお礼申
し上げます 岸辺呂範より

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4473d/>

日本格闘大戦荒木編

2010年10月9日11時50分発行